

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 児童デイサービスあさひ丸ひろば第二

保護者数(児童数)29 回収数27 割合93%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27				・いつも楽しく活動出来ていると思います ・日頃の活動の様子を見ていないので解らず、きつと大丈夫と思います。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1		6	・子供の様子を良く見てもらえてと思います。	
	③	障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化が適切になされているか	21		1	5		
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	25	2			・子供の様子を踏まえた上で、計画してもらえていると思います。	
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	23	3		1	・知育のプログラム、親としても、とても助かっております。成長の経過を把握出来ると嬉しいです。 ・その日や週、月によって色々計画されています。	
	⑥	放課後児童クラブや児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	2	21	・機会があれば是非お願いします。今の所はそのような機会があるかは不明ですが。	
保護者 への 説明 等	⑦	利用者負担等の説明や支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	27				・面談の際には、以前の計画も振り返りながら、それを踏まえて説明して頂いていると思います。	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	2			・伝え合う時間が中々取れず、「日頃から」は少々難しいように思います。 ・いつも丁寧にご対応頂き、感謝しております。 ・面談や送迎での場面が多いですが、様子はもう少し育児に関する助言がほしい。	
	⑨	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	1		1	・いつも良く聞いて頂いています。	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	5	6	9	・保護者会のお手紙もあつたので機会があれば、是非参加したいと思えます。 ・ご検討中との事、嬉しく思っています。先先生方のご負担にならずに済む様に、大きな会でなくても日頃の様子を知れたら十分です。	
	⑪	子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20			7	・当日こちらの急な要望に、すぐに対応して頂き、本当に有難く思っています。 ・特に不満に思うことがなく苦情などは申し入れた事はありませんが、良く話を聞いてはもらえているので、対応に問題を感じません。	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1		2	・連絡帳に書く様子がわかるように書いてあるので、毎日読むのが楽しみです。 ・子どもの事も良く見て知ろうとしてくれてますし、連絡帳などでも様子は知れるので問題	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24	1		2	・新聞などで他のお子さんとの関わりや活動の様子が分かって、いつも楽しんで観ています	
	⑭	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	27				・インスタ、顔出しの許可をとって出しても良いのかと思います。 ・特に問題ないと思います。	
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	23	1		3	・防犯や感染症の対応については、分かりませんが、避難訓練などに関しては実際に子供が参加した経験があり、きちんとされていると思います。	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	1		5	・訓練されていると、お知らせで拝見しています。	
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	25	2			・第二が楽しくて好きみたいで土日「第二行く～」と言ってるので親としても嬉しいです。	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	25	2			・子供も家族も支えられている感じが、とても安心出来ます。 ・とても満足しています。 ・とても良く子供を見て頂いていると思いま	

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6年 3月 31日

事業所名 児童デイサービスあさひ丸ひろば第二

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3		メインルームが狭いが、置くものを少なくした所、前より広く使えるようになった。 ・利用人数が多い日は、プレイルームとメインルームを使い人数を分散させている	・メインルームが狭いので、利用人数が多い時など広いプレイルームの活用も考えていく。
	②	職員の配置数は適切である	3	3			
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1		・階段がある為、職員と手をつなぐ事や、職員が児童たちよりも下の段にしているようにしている。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	5	1			
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を等を把握し、業務改善につなげている	6				
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	6				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	4		・第三者委員会は設置していません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			・外部研修に参加したり、事業所内でも定期的に全体会議を実施している。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1			
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		・担当の職員が行い、チームでも話し合っている。	
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	5	1			・職員が少なく活動プログラムの実施が難しい時もある。その際は、利用児童にも意見を聞いた上で、その日に出来るプログラムに変更などしている。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	5	1			
	⑭	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	4		・打ち合わせが出来ない場合、個々に情報を伝えたり記録に目を通すようにしている。 ・お互い、声掛けが出来ている。	
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			・支援記録を残している。支援後に気になった事、気付きなどを話し合っている。	

	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6				
関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	5	1			
	⑲	母子保健やこども・子育て支援等の関係者や学校、関係機関と連携した支援を行っている	1	3	2		・学校での引き渡しの際に、学校の先生ともコミュニケーションを取って情報を、引き続き共有していきたい。
	⑳	就学前に利用していた保育所、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		2	4		
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか		2	4		・現在は、該当者がいない為、情報提供の場がないが、今後そのような際は情報を提供したい。
	㉒	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	3		・直接の関わりはないが、保護者様を通して、専門機関からの助言など情報を共有している。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会があるか			6		
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		1	5		
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1			
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	2	3		
	保護者への説明書	㉗	運営規定、利用者負担等の説明や、支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	6			
㉘		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2			
㉙		父母の会の活動をしたり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	2		・コロナ関係で、今まで開催していなかったが、今後開催する予定である。
㉚		子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6				

責任等	③①	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の除法を子どもや保護者に発信している	6				
	③②	個人情報の取り扱いに十分注意している	6				
	③③	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	③④	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			6		
非常時等の対応	③⑤	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施している	6				
	③⑥	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っている	5	1			・定期的に訓練を実施していく。
	③⑦	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6				
	③⑧	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	2		
	③⑨	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				・社内に虐待防止委員会を設置し、研修を行っている。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2				

事業所自己評価のまとめ

事業所名 児童デイサービスあさひ丸ひろば第二

職員による自己評価と保護者に評価の共通点

- ・運営規定、利用者負担等の説明や支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から個別支援計画の同意を得ている。
- ・個人情報の取り扱いに、十分注意している。

相違点

- ・緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。

改善点と改善への取り組みを話し合った結果

- ・保護者会について。
手指消毒、マスク着用等、ご協力頂き保護者会を3月に開催予定。
- ・緊急時対応～について。
保護者様に、周知して頂けるように予定表に表記したり、訓練の様子をInstagramやひろば第二新聞などで発信していく。ご利用日と重なっていないと参加出来ないので、今後は実施日についても検討していく。

保護者様からの貴重なご意見

- ・今の時代、保護者向けの連絡等はペーパーレス化でも良いのでは。学校も電子化になりましたし、職員の仕事量軽減→その分の労力を子供達へ。
- ・ハンデのある子が健常の子達への交流はよくあるが、逆に健常の子たちが放デイへ見学に來たりと言う構図も必要なのでは。関西では、そう言うシステムが進んでいる。